

# 徳島県国民健康保険運営方針の取組状況について

# 徳島県国民健康保険運営方針の取組状況

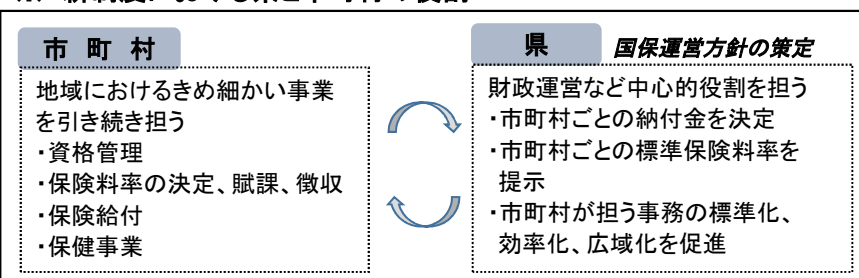
## 策定の趣旨

- ・平成30年度から、県が市町村とともに国民健康保険を運営。
- ・保険者の事務を共通認識の下で実施するとともに、事業の広域化や効率化を推進するため、本県の国民健康保険制度運営の統一的な方針として、徳島県国民健康保険運営方針を策定。

## 運営方針の期間

平成30年4月から令和3年3月まで

## ※ 新制度における県と市町村の役割



## 1 国民健康保険の医療に要する費用及び財政の見通し

### 医療費の動向

・被保険者数(年度末現在)	181,120人(平成26年度) → 156,745人(平成30年度)	
・65～74歳の割合	39.2%(平成26年度) → 47.0%(平成30年度)	※全国平均 43.2%(平成30年度)
・一人当たり医療費	374,484円(平成25年度) → 412,306円(平成29年度)	※全国平均 362,159円(平成29年度)

## 2 市町村における保険料(税)の標準的な算定方法

### 納付金及び標準保険料率の算定

- ・4方式(所得総額, 資産税総額, 被保険者総数及び世帯総数を勘案して算定)を採用
- ・各市町村の年齢調整後医療費水準を各市町村の納付金に反映
- ・高額医療費(レセプト1件当たり80万円超部分)を県単位で共同負担

※年齢調整後医療費指数(平成28～30年度の3年平均/高額医療費共同負担あり)  
 【最大】三好市1.2449 【最小】上勝町0.9150

## 3 市町村における保険料(税)の徴収の適正な実施

### 収納対策

- ・夜間・休日における納付相談, 滞納整理機構への滞納処分の移管, 財産調査の実施, 差押えの実施等の取組み
- ・収納率向上アドバイザーを講師とした研修会の実施
- ・収納率 91.57%(平成26年度) → 93.51%(平成30年度) ※全国平均 92.45%(平成29年度)
- ・滞納世帯の割合 10.9%(平成30年度) ※全国平均 14.7%(平成30年度)
- ・短期被保険者証の交付世帯の割合 5.7%(平成30年度) ※全国平均 4.1%(平成30年度)

#### 4 市町村における保険給付の適正な実施

##### 給付点検

- ・レセプト点検, 療養費の支給に関する点検, 第三者行為求償等の取組み
- ・レセプト点検事務研修会の実施
- ・求償アドバイザーを講師とした研修会の実施
- ・レセプト点検実施状況(平成29年度)

被保険者一人当たり財政効果額 2,181円/財政効果率 0.64% ※全国平均 2,051円/0.70%

#### 5 医療費の適正化の取組

##### 医療費適正化 対策

- ・特定健診, 特定保健指導をはじめとした生活習慣病の発症予防, 重症化予防等の取組み
- ・レセプト等の分析に基づくデータヘルス計画の推進
- ・県国保ヘルスアップ支援事業による市町村保健事業への支援
  - 特定健診受診率向上のための研修会, 働き盛り世代をターゲットとした啓発パンフの作成
  - 重症化予防における早期介入支援(KDBシステムを活用した対象者抽出ツールの作成)
  - 被保険者を対象とした健康ポイント事業(スマホ用の健康アプリを活用した健康ポイント制度の構築)
- ・保険者協議会による後発医薬品使用促進に関する周知啓発, 関係機関へのアプローチ等
- ・特定健診実施率 35.1%(平成29年度) ※全国平均 37.2%(平成29年度)
- ・後発医薬品使用割合 64.9%(平成31年3月診療分) ※全国平均[全保険者] 74.6%(平成31年3月診療分)

#### 6 市町村が担う事務の広域的及び効率的な運営の推進

##### 市町村事務の 効率化

- ・国保連合会への委託による 医療費通知, 後発医薬品の差額通知, レセプト点検等の実施。